

## 積水ハウス、2019年度の社内ペットボトル7割削減

積水ハウス株式会社は、環境大臣に環境先進企業として認定を受けた「エコ・ファースト企業」として、環境省が推進する「プラスチック・スマート」キャンペーン<sup>\*1</sup>に賛同し、2018年11月から社内のペットボトル削減運動を実施しています。2019年度の削減量は前年比7割減、37万本を超える削減結果となりました。



- 社内会議ではペットボトルを配布・持参せず、マイボトルや環境配慮型紙コップを使用
- 社員の環境意識向上により、自社オフィス設置の自動販売機でのペットボトル飲料購入本数が約37万本減少
- 施工現場の廃プラスチック約1万9千tを回収し100%リサイクル、資源循環型社会に貢献

積水ハウスでは、持続可能な企業活動という観点から資源循環に取り組んでおり、2005年以降新築施工現場などで廃棄物リサイクル100%を達成してまいりました。これらの取り組みを背景に、海洋プラスチックごみ問題解決に貢献するため、その大きな原因の一つであるペットボトル利用への問題提起を通して社員の環境意識を向上させることを目的に、このエコアクションを実施しています。

### 「プラスチック・スマート」賛同の社内エコアクションについて

- 1) 社内会議ではペットボトルを配布・持参せず、マイボトルや環境配慮型紙コップを使用
- 2) 自社オフィスに設置している自動販売機からペットボトル飲料を減らす
- 3) 「プラスチック・スマート」ロゴ入りボトル（写真右）の社内導入、エコバッグの利用推奨

1年間の活動検証を行ったところ、マイボトル等の利用促進等により、自社オフィス設置の自動販売機でのペットボトル飲料購入本数は、37万本超減少しました。



表1: 自社オフィス設置の自動販売機でのペットボトル飲料購入本数

年（暦年比較）	2018	2019	減少量	削減率
ペットボトル本数	52万6千本	15万4千本	37万2千本	70.7%

日本国内で消費されるペットボトル飲料は244億本<sup>\*2</sup>。国内のリサイクル率は比較的高いものの、ペットボトルはその持ち運びやすさから海洋プラスチックごみの原因になりやすく、各個人の高い意識にもとづく処理に委ねられています。繰り返し使用可能なマイボトルの使用によりその要因を少しでも取り除き、社員一人ひとりが「いまできることから始める」という意志でプラスチック・スマートの活動を推進しています。

積水ハウスはESG経営のリーディングカンパニーを目指し、サステナブルな事業活動でお客様の生活環境と地球環境の保全に貢献、「わが家」を世界一幸せな場所にするという企業ビジョンを実現いたします。

<sup>\*1</sup> ポイ捨て撲滅を徹底した上で、不必要なワンウェイのプラスチックの排出抑制や分別回収の徹底など、個人や企業などそれぞれの立場でできる「プラスチックとの賢い付き合い方」の取り組みを全国的に推進 環境省公式サイト：<http://plastics-smart.env.go.jp/about/whats/>

<sup>\*2</sup> 2018年度PETボトル出荷本数、PETボトルリサイクル年次報告書2019より（PETボトルリサイクル協議会）

## 施工現場の廃プラスチック回収とリサイクルについて

積水ハウスは、早くから事業活動での廃棄物リサイクル 100%「ゼロエミッション」化に取り組んでおり、2002年に達成した工場ゼロエミッションを皮切りに、業界で唯一、新築施工現場（2005年）、アフターメンテナンス（2006年）、リフォーム施工現場（2007年）の4部門でゼロエミッションを達成しています。

12 つくる責任  
つかう責任



廃プラスチックについても、2005年の新築施工現場におけるゼロエミッション導入以降、全量を回収し、自社の資源循環センターで最大60種類以上<sup>\*3</sup>に分類、100%リサイクル（うち約95%はマテリアルリサイクル）しています。2019年度は1万8974tのリサイクルを実現しており、過去3年間のリサイクル量は以下の通りです。

世界的な人口増加に伴う資源やエネルギーの需要が高まる中、すべての人の安定した暮らしを支えるため、今後も限りある資源の効率な利用を推進し、資源循環型社会の実現に貢献してまいります。

表 2: 施工現場の廃プラスチックリサイクル量（全社合計）

年度 <sup>*4</sup>	2017	2018	2019
リサイクル量	17,376 t	17,438 t	18,974 t

<sup>\*3</sup> プラスチック種別毎の分類に加え、汚れ具合などリサイクル施設のニーズに応じて細分化

<sup>\*4</sup> 当社事業年度：2月1日～翌年1月31日

### 積水ハウスの建築廃棄物の分別と「資源循環センター」



資源循環センター外観



2次元バーコードを用いた独自の回収システム



プラスチックだけでも最大60種類以上に分別、うち約95%をマテリアルリサイクルしています

Photo: 積水ハウス 関東・資源循環センター（茨城県古河市）

本施設は「積水ハウス エコ・ファーストパーク」の「資源の泉」として一般公開されています。

<https://www.sekisuihouse.co.jp/efp/>（※現在は新型コロナウイルス感染拡大防止のため見学受付中止）